

平成24年度 第3回岡山県文化振興審議会 次第

日時：平成25年1月24日(木)

13時～

場所：三光荘 パブリゾン

1 開 会

2 議 題

おかやま文化振興ビジョンの中間見直しについて

3 その他

○平成25年度重点事業（新規）

○県立文化施設における指定管理者の状況

4 閉 会

岡山県文化振興審議会委員

氏 名	役 職 名
あさの あつこ	作家
赤木 里香子	岡山大学大学院教育学研究科准教授
白井 洋輔	吉備国際大学文化財学部教授
大原 謙一郎	公益財団法人大原美術館理事長
神崎 宣武	民俗学者
越宗 孝昌	山陽新聞社代表取締役社長
佐々木 英代	岡山県演奏家協会副会長
澤田 虚遊	岡山県書道連盟会長
杉山 知子	美作大学生生活科学部教授
田野 智子	NPO法人ハート・アート・おかやま代表理事

(会長)

(副会長)

敬称略 50音順

平成24年度 第3回岡山県文化振興審議会

配 付 資 料

○資 料

- | | | | |
|---|----------------------|---|------|
| 1 | ビジョン見直しに関する審議の経緯 | … | P 1 |
| 2 | パブリック・コメントの結果について | … | P 2 |
| 3 | 成果指標に関する意見照会の結果について | … | P 5 |
| 4 | おかやま文化振興ビジョン中間見直し（案） | … | （別冊） |

○参考資料

- | | | | |
|---|----------------------|---|-------|
| 1 | 平成25年度文化振興関係重点事業（新規） | … | P 6 |
| 2 | 県立文化施設における指定管理者の状況 | … | P 1 2 |

ビジョン見直しに関する審議の経緯

H24

2月

文化振興審議会
新たな委員の選任、意見交換

6月

文化振興審議会
ビジョン見直しの「方向性」について審議

7月

県教育委員と審議会委員との合同会議

8月

文化振興審議会
ビジョン見直しの「素案」について審議

10月

※期間:1カ月

パブリックコメントの実施
ビジョン見直しの「素案」について意見を公募

12月

パブリックコメントの結果公表
寄せられたご意見と県の考え方を公表

H25

1月

文化振興審議会
ビジョン見直しの「最終案」について審議

2月

文化振興ビジョンの見直しを決定

パブリック・コメントの結果について

○パブリック・コメントの状況

- ・実施期間 平成24年10月15日から11月14日
- ・意見等の件数 14件

○意見等の要旨と県の考え方

1 全体について（2件）

番号	意見等の要旨	県の考え方
1	表題の「おかやま文化振興ビジョン」は「岡山県文化振興ビジョン」としたらよいのではないか。	柔らかさと親しみやすさを感じていただけるよう、ひらがな表記としています。
2	抽象的な表現が多いが、何か現実の問題点への対策的な取組を列挙すれば、具体的な成果が期待できるのではないか。	ビジョンは施策の方向性を示したものであり、今後、このビジョンに基づき具体的な施策を実施してまいります。

2 具体的施策について（11件）

番号	意見等の要旨	県の考え方
3	学校文化部活動の活性化を図るための支援充実では、岡山県高等学校文化連盟だけでなく、岡山県中学校文化連盟も加えてはどうか。	ご意見を踏まえ、「岡山県中学校文化連盟」を追記することを検討します。
4	芸術文化に触れるとは美意識を培うことであり、別の価値観に出会うことだ。本物をきちんと味わうための基礎知識や解説など、鑑賞前の教育が必要だ。	例えば県立美術館では、美術館講座や美術の夕べなどにより理解促進を図っているところであり、本物の芸術を体感できるワークショップや学校等と連携したアウトリーチなどにも一層取り組んでまいりたいと考えています。

番号	意見等の要旨	県の考え方
5	<p>「郷土の歴史や文化財に親しむ機会の充実」の項目が追加されたことは評価できる。学校教育や地域の中で歴史教育のプログラムを充実してほしい。</p>	<p>社会科を含めた様々な学習機会を捉えて、歴史や伝統、文化に触れ、学習できるよう市町村教育委員会や県立学校に働きかけるとともに、郷土の歴史や文化財を紹介したガイドブック等を活用し、より地域の歴史や文化財への理解を深めるための事業を検討したいと考えています。</p>
6	<p>文化施設の利用促進については、県施設は「利用推進」とし、県以外の施設については「利用促進」と記述してはどうか。</p>	<p>県では事業実施に際して、ご意見のように区別した表記もしていますが県民の方などに文化施設を利用させていただくという観点から、ここでは「利用促進」と記述しています。</p>
7	<p>文化財保護の分野ではボランティアを育成するのに対し、一般的な文化ボランティアの育成に関する記述がないのは、整合性がないのではないか。</p>	<p>県民による文化活動の充実を図るため、様々な分野の文化活動をサポートする人材の育成・活用を行っていきたいと考えています。</p>
8	<p>「古典の日」制定を踏まえた記述を追加してはどうか。</p>	<p>古典は、我が国の文化において重要な位置を占め、優れた価値を有しており、ビジョンの中でも伝統文化の保存・継承等について記述しています。</p>
9	<p>文化による地域のにぎわい創出について、アートプロジェクトの活用施設に「廃校」を加えてはどうか。</p>	<p>活用施設を「空き店舗や空き家、<u>学校の空き教室や廃校施設等</u>」と修正することを検討します。</p>

番号	意見等の要旨	県の考え方
10	文化による地域のにぎわい創出について、瀬戸内国際芸術祭に関する記述を加えてはどうか。	瀬戸内国際芸術祭を含め、他の文化プロジェクトとも連携しながら、地域のにぎわい創出や文化交流のネットワークづくりに努めてまいりたいと考えています。
11	ネットワークは一過性のイベントのためでなく継続こそが重要だ。互いに情報交換し、刺激し合うための仕組みとして生きるネットワークの素地作りが必要だ。	文化の振興には、人と人、人と地域をつなぐ様々なネットワークが重要であり、そうしたネットワークづくりの推進に努めていきたいと考えています。
12	文化交流のネットワークづくりでは、対象が中四国だけなら「環瀬戸内海文化連携」の「環」は削除すべきではないか。	「中四国各県等と協働した環瀬戸内海文化連携」と修正することを検討します。
13	今日も古代も、日本や岡山の文化は海外からの影響を強く受けており、海外の文化に触れる機会の充実に関する施策をビジョンに追加してほしい。	海外作家の展覧会や海外アーティストによるレジデンスはすでに県内でも行われており、ビジョンの中でも異文化への理解促進や言葉の壁を超えた文化の交流を推進する旨記述しています。

3 成果指標について（1件）

番号	意見等の要旨	県の考え方
14	成果指標の目標値は過大なものが散見されるので、関係文化団体との協議を踏まえ、現実に即した実現可能な数値目標とすべきではないか。	定性的な要素の多い文化振興施策に新たに重点施策の達成度や進捗度を示す成果指標を導入するものですが設定する数値目標は更に精査してまいりたいと考えています。

成果指標に関する意見照会の結果について

○経緯と調査方法

○ 8月の審議会において、成果指標の設定に関して

「民間が行っている活動も加えるべき」

「各美術館等に対して成果指標への参加に関するアンケートを取るべき」

との意見をいただいた。

○ 岡山県博物館協議会に加盟する美術館や博物館に対して、ビジョンで設定する成果指標への参加を希望するか等を照会した。(9月～10月)

○調査結果

○ 照会を行った施設数 72 (県立の5施設を除く。)

○ 回答があった施設数 36

○ 成果指標への参加を希望した施設数 3 【全体の4%】

○ビジョンでの取扱い

成果指標への参加を希望した民間施設はほとんどないことから、民間施設については成果指標の対象とはしないが、審議会での意見も踏まえ、次のとおり、成果指標に「凡例」を入れることとする。

○ この成果指標は、県が実施する事業や県立施設に関する内容を中心に設定をしています。

○ 文化団体等が行う様々な活動に関しては数値化が困難なものもありますが、今後、文化関係者等のご意見をいただきながら、可能なものは取り入れていくこととしています。

重点事業調書

〔担当部局・課名：環境文化部文化振興課〕

3次	基本戦略名称等	基本戦略横断プロジェクト 基本Ⅳ 豊かで潤いのある暮らしづくり											
夢	戦略プログラム名等	胸を張ってPR！岡山情報発信プロジェクト 文化・スポーツ・学びを楽しむ暮らし創造プログラム											
ラン	メッセージ・基本施策名	岡山への愛着と誇りの醸成、「文化がまちにある」プロジェクトの推進											
重点事業等の名称		アート・ブリッジおかやま形成事業											
終期設定：平成27年度		予算区分	一般	事項名	芸術文化活動費								
現状・課題	<p>〈現状・課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域文化の振興は、郷土への愛着と誇りを育み、個性豊かな地域づくりを促進する。 国民文化祭開催を契機に、地域の文化資源への関心が高まり、岡山文化の魅力を県内外へ発信した。〔総参加者数：196万人 経済波及効果：129.2億円〕 〔成果〕①県民の文化への関心の高まり ②分野や地域、世代の枠を超えた交流の輪の拡大 ③次世代への継承の重要性を認識 地域文化を支えリードする人材の育成やNPO、住民、地元の芸術家との協働による文化施策の推進は、ソフト面から地域の活力を高める大きな効果を持つ。 地域文化の理解と振興のため、市町村文化協会や地元の作家が中心となり地域の人々が地域の文化を主体的に担っていく仕組みづくりが求められている。 												
事業内容・進め方	<p>〈事業内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 短期滞在制作モデル事業 文化団体や作家、NPO、住民等を地域の文化サポーターとしてサポートグループを構築し、空き家や空き店舗、空き教室などを活用し、短期の滞在制作（レジデンス）を核とした文化事業を実施 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>〈進め方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内外の作家を招聘する短期レジデンス（滞在制作）を中心に地域住民との共同作品制作やワークショップ、関連イベントを開催し、その過程の中で交流を通じて、人と人、人と地域を結び（ブリッジ）、文化を核とした地域づくりとなるモデル事業を市町村や市町村文化協会を巻き込みながら実施し、地域に文化芸術を根付かせる。 特にH25年度は美作国建国1300年記念事業を盛り上げるため、吉井川流域を中心に県南から県北をつなぐように開催地を配置。H26・27年度に開催地を巡回させながら計県内3地域で実施 												
事業の意図・費用効果等	<p>〈事業の意図・費用対効果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内各地で文化芸術を通じた人と人とのつながりを深めるとともに、地域の文化のレベルアップを図り、これを地域で支える人々（サポートグループ）を育てることで、文化を核とした地域づくりを促進 <p>〈設定目標〉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 20%;">展覧会、交流事業等への 延べ参加者数（累計）</td> <td style="width: 15%;">現 状</td> <td style="width: 15%;">平成25年度</td> <td style="width: 15%;">平成27年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0人</td> <td style="text-align: center;">15,000人</td> <td style="text-align: center;">45,000人</td> </tr> </table> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>〈コスト抑制のための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村との連携により滞在施設や展覧会会場、交流活動会場使用料を削減 事業実施ノウハウを市町村に引き継ぎ、将来的に市町村主体で実施地域を拡大 						展覧会、交流事業等への 延べ参加者数（累計）	現 状	平成25年度	平成27年度	0人	15,000人	45,000人
展覧会、交流事業等への 延べ参加者数（累計）	現 状	平成25年度	平成27年度										
	0人	15,000人	45,000人										
事業費の見積もり	区 分	H 2 4 予 算 額	H 2 5 予 算 要 求 額	H 2 6 見 込 額	H 2 7 見 込 額	H 2 8 以 降 見 込 額							
	事業費(単位:千円)	0	8,530	8,530	8,530	0							
財源内訳	一般財源	0	8,530	8,530	8,530	0							
	起 債												
	その他特定財源												

アート・ブリッジ おかやま形成事業

第25回 国民文化祭・おかやま2010

県文祭のグレードアップ

岡山芸術回廊の開催

文化芸術への一層の関心の高まり
住民、NPO、地域の芸術家のネットワークの広がり

発展・強化

「文化がまちにある」プロジェクトの推進

アート・ブリッジおかやま

文化芸術の力で地域を元気に！

市民レベルで文化を支える
サポートグループの構築

サポートグループ

文化団体

参加

アーティスト

地域住民

NPO

ボランティア

支援

行政

地域と文化をつなぐ

交流活動

国内外の作家を招聘
レジデンス事業
H25:モデル実施

発表活動

アーティストとの
共同制作・ワーク
ショップ

空き家や空き店舗
の活用

地域の文化事業の活性化

H26～

全県的広がり

地域住民が文化を身近に感じるきっかけ
～人と地域をつなぐ(ブリッジ)～

地域の文化力の向上

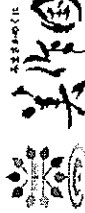
文化を核とした地域づくり

美作国建国1300年記念事業(部局連携事業)

重点事業調書

(担当部局・課名：県民生活部・県民生活交通課、環境文化部・文化振興課)

3次	基本戦略名称等	基本戦略横断プロジェクト					
夢	戦略プログラム名等	胸を張ってPR！岡山まるごと情報発信プロジェクト					
ラン	メッセージ・基本施策名	岡山への愛着と誇りの醸成					
重点事業等の名称		美作国建国1300年記念事業県事業等					
終期設定：平成25年度		予算区分	一般	事項名	美作国建国1300年記念事業費、 県立美術館事業費		
現状・課題	<p>〈現状・課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建国1300年という節目を契機に、美作地域が一丸となって情報発信や活性化に取り組む。 ・課題としては、全県的な盛り上げ、首都圏や関西圏等県外からの誘客対策、さらには、記念事業を一過性の効果にとどめることなく、今後の地域活性化につなげることが必要である。 						
事業内容・進め方	<p>〈事業内容〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 美作国建国1300年記念事業県事業等〈新規〉【24,659千円】 県や美作地域の10市町村、民間団体で組織する実行委員会が実施する記念事業に県負担金を支出する。また、美作地域の魅力を県内外へ広める県事業を実施する。 2 美作国建国1300年記念特別展「美作の美術」〈新規〉【9,095千円】 美作国の歴史と文化・伝統を時間軸で展示する、希少価値の高い展覧会を開催する。 <p>-----</p> <p>〈進め方〉</p>						
事業の意図・費用対効果等	<p>〈事業の意図・費用対効果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建国1300年記念事業の実施により、県民が美作地域の歴史・文化についての意識を深め、郷土愛の醸成、記念事業実施を契機とした地域活性化を図る。 <p>-----</p> <p>〈コスト抑制のための工夫〉</p> <p>他県の最近の事例との比較では、事業費を大幅に抑制している。</p> <p>島根県(神話博しまね)(H24)：約15億円 → 本県(H25)：69百万円</p> <p>鳥取県(国際マンガ博)(H24)：約10億円</p>						
事業費の見積もり	区 分	H24予算額(新規以外)	H25予算要求額	H26見込額	H27見込額	H28以降見込額	
	事業費(単位:千円)		33,754				
	財源内訳	一般財源		28,966			
		起 債		0			
	その他特定財源		4,788				



美作国 130周年記念事業 県事業 11のラインアップ

【実行委員会事業】

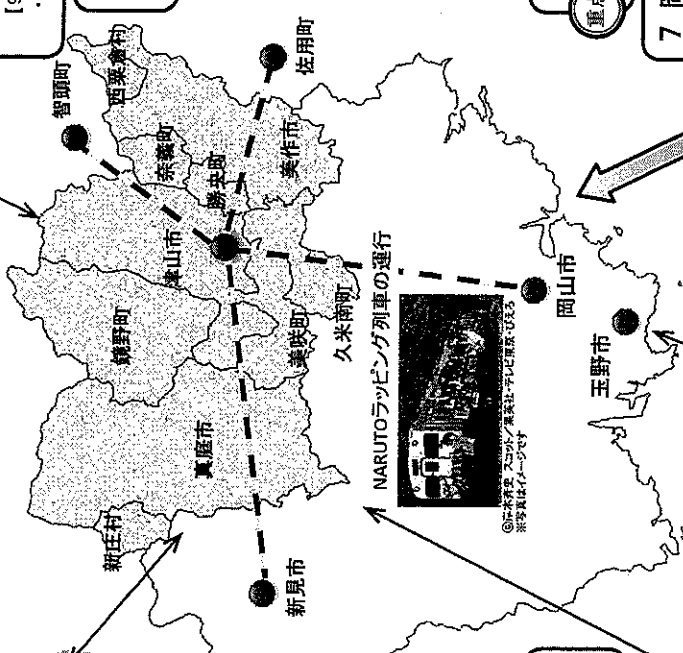
- 1 開幕祭典
- 2 美作国おもしろラリー
- 3 みまさかミステリーツアー
- 4 「NARUTO列車」で巡る美作国

重点
県負担金 15,000千円



建国1300年
京都府 丹後地域
＜丹後建国1300年記念事業＞

- 1 県民文化祭 メインフエスティバル
[9月、津山市内、13,558千円、環境文化部]
・県内文化団体等による演技・演奏
- 2 県民文化祭 地域フェスティバル
[9月～11月、津山市内ほか、4,000千円、環境文化部]
・県民が主役となって企画、実施する文化芸術活動
- 3 おかやま文化フォーラム
[11月、美作地域内、1,195千円、環境文化部]
・古代吉備をテーマとするフォーラム(歴史講演会)
- 4 美作国建国1300年記念特別展「美作の美術」
[5月31日～6月30日、県立美術館(岡山市)、9,095千円、環境文化部]
・「江戸～目黒屏風」など美作地域ゆかりの書画や美術工芸品等の展示
- 5 企画展「美作の名宝」
[7月25日～9月1日、県立博物館(岡山市)、1,663千円、教育庁]
・美作地域ゆかりの考古品、民俗資料等の展示
- 6 美作国伝統継承事業
[11月、美作地域内、2,103千円、県民生活部]
・美作地域に古くから伝わる芸能や工芸など伝統文化を活用し、ワークショップや伝統芸能公演を実施
- 7 岡山県民俗芸能大会
[11月、津山市内、700千円、教育庁]
・美作地域を中心とした上演団体による獅子舞共演大会

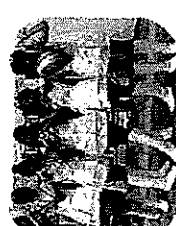


島根県
＜出雲大社 平成の大遷宮＞

- 8 岡山めぐり総合フェア2013
[10月、美作地域内、6,462千円、農林水産部]
・美作地域の農林水産物の展示・販売等
- 9 美作国の絶品体感事業
[7月、美作地域内、2,159千円、県民生活部]
・美作地域の絶品を体感してもらおうツアーの実施
・NPO等地元住民の協力を得て交流を図る
- 10 美作国元気集落の隠れたお宝再発見！
[10月、美作地域内、2,454千円、県民生活部]
・美作地域の元気集落の活動や産品等PRするブースを「岡山めぐり総合フェア」に出展
- 11 美作国町並み活用賑わい創出事業
[10月、美作地域内、2,943千円、県民生活部]
・地域の賑わいを創出するため、美作地域の歴史を感じさせる町並みを活用したイベントを実施

その他事業

- ・県立図書館「美作国記念展示・上映会」など



建国1300年
鹿児島県 大隅地域

瀬戸内国際芸術祭

首都圏
関西圏
からの誘客

美作国PR大使
Sakulove(さくらぶ)

春:3/20～4/21、夏:7/20～9/1、秋:10/5～11/4

重点事業調書

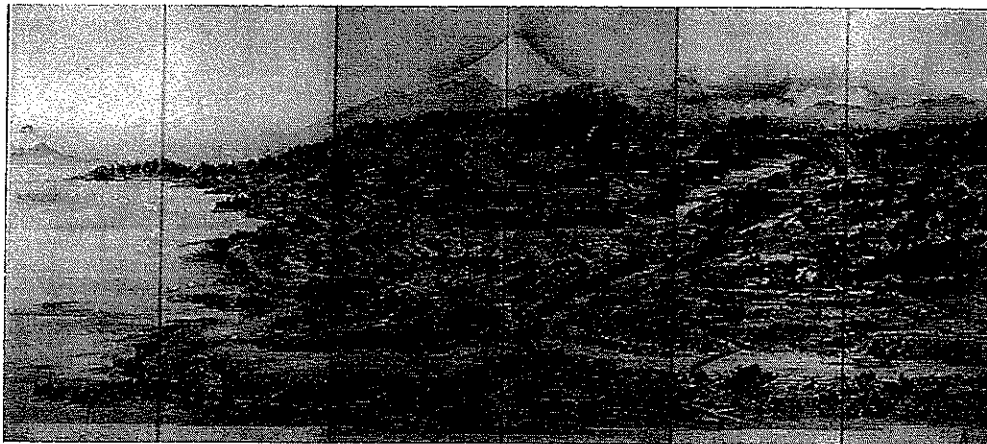
〔担当部局・課名：環境文化部文化振興課〕

3次 夢 ラン	基本戦略名称等	基本戦略横断プロジェクト 基本Ⅳ 豊かで潤いのある暮らしづくり								
	戦略プログラム名等	胸を張ってPR！岡山まるごと情報発信プロジェクト 文化・スポーツ・学びを楽しむ暮らし創造プログラム								
	メッセージ・基本施策名	岡山への愛着と誇りの醸成 文化創造活動の企画・支援								
重点事業等の名称		美作国建国1300年記念特別展「美作の美術」								
終期設定：平成25年度		予算区分	一般	事項名	県立美術館事業費					
現状・課題	<p>〈現状・課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美作国建国1300年記念事業を県全体で盛り上げるため、県南の施設で事業を実施することは重要。 ・美作の優れた歴史と文化・伝統を広く県内外へ紹介する絶好の機会である。 									
事業内容・進め方	<p>〈事業内容〉</p> <p>県立美術館において、美作国の歴史と文化・伝統を時間軸で展示する、全国でも珍しい希少価値の高い展覧会を次のとおり開催する。 開催時期：平成25年5月31日～6月30日 展示作品：「江戸一目図屏風」等、美作国ゆかりの作品（仏像、掛軸、絵巻、工芸品等）約150点 関連事業：記念講演会、美術の夕べ、学芸員によるギャラリートーク</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>〈進め方〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示作品の借用（4～5月中旬） ・図録の作成（4～5月下旬） ・展示室工作、作品の展示（5月下旬（数日間）） ・展覧会開催、関連事業の実施（5月31日～6月30日） ・展示の撤収、返却（7月初旬） 									
事業の意図・費用対効果等	<p>〈事業の意図・費用対効果〉</p> <p>より多くの人に美作国の文化・芸術に触れてもらい、美作国のみならず岡山県の文化・芸術に関する情報発信を行う。</p> <p>〈設定目標〉</p> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse; margin-left: 20px;"> <tr> <td style="padding: 2px;">記念特別展</td> <td style="padding: 2px;">平成25年度</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(数値等) 入館者数(人)</td> <td style="padding: 2px;">10,000</td> </tr> </table> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>〈コスト抑制のための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間メディア（山陽新聞社）との共同開催（メリット） <ul style="list-style-type: none"> ・事業費の一部出資が見込まれる。 ・効果的な広報による入館者の増加が期待できる。 						記念特別展	平成25年度	(数値等) 入館者数(人)	10,000
記念特別展	平成25年度									
(数値等) 入館者数(人)	10,000									
事業費の見積もり	区 分	H24 予算額	H25 予算要求額	H26 見込額	H27 見込額	H28以降見込額				
	事業費(単位:千円)		9,095							
財源内訳	一般財源		4,307							
	起債									
	その他特定財源		4,788							

美作国建国1300年記念 特別展「美作の美術」

平成25年に建国1300年を迎える美作国
この国に育まれた優れた美術作品を一堂に集めた特別展「美作の美術」を開催

- 実施時期：平成25年5月31日～6月30日
- 会場：県立美術館
- 主な展示作品（予定）
東京スカイツリー展示で話題の県重要文化財「江戸一目図屏風」（鋏形蕙斎）
剣豪・宮本武蔵の水墨画、棟方志功の版画など
美作国ゆかりの作家の作品（仏像、掛軸、絵巻、工芸品等） 約150点
- 事業費：10,095千円（うち県負担額9,095千円）
- 共催：山陽新聞社（予定）



「江戸一目図屏風」 鋏形蕙斎 津山郷土博物館蔵



「達磨図」(部分) 宮本武蔵
岡山県立美術館蔵



「二菩薩釈迦十大弟子」 棟方志功
棟方志功・柳井道広(M&Y)記念館蔵

会期中、美作の歴史や美術に焦点をあてた
記念講演会や当館学芸員によるギャラリー
トーク等、様々な関連事業を開催し、美作国
1300年の歴史や優れた文化、伝統を紹介

○県立文化施設における指定管理者の状況

H24. 4現在

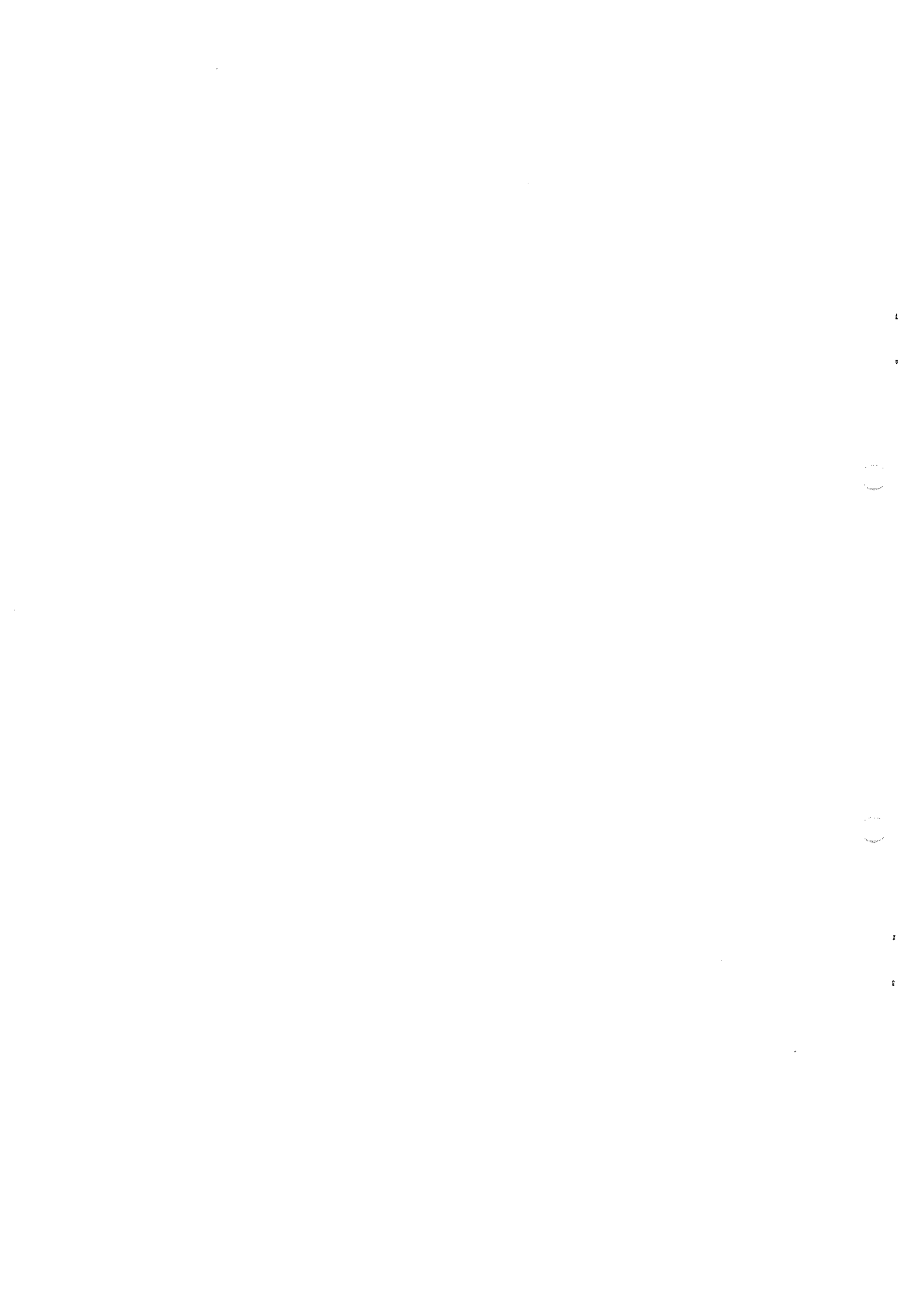
部局	施設名	指定管理者
環境文化部	岡山県立美術館 ※	アトラクティブ大永株式会社 → H25～ 鹿島建物総合管理株式会社
	岡山県天神山文化プラザ	公益社団法人岡山県文化連盟
	犬養木堂記念館	公益財団法人岡山県郷土文化財団
	岡崎嘉平太記念館	公益財団法人岡山県郷土文化財団
	おかやま旧日銀ホール（ルネスホール）	特定非営利活動法人バンクオブアーツ岡山
教育委員会	岡山県生涯学習センター ※	クラレテクノ株式会社 → H25～ CRISコンソーシアム
	岡山県立図書館 ※	鹿島建物・オークス・岡山造園グループ
	特別史跡旧閑谷学校	公益財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会
	岡山県立博物館 ※	日本管財株式会社

- (注) ○ ※印は、施設管理の一部に導入している施設
 ○ ゴシック体は、H24に指定管理替えの手続きを行った施設（5施設）
 うち2施設で、H25から指定管理者が変更
 ○ 指定期間は、いずれの施設も5年間

(参 考)

CRISコンソーシアムの構成団体

- ・ 財団法人岡山県青年館
- ・ 両備ホールディングス株式会社
- ・ 株式会社アール・エステートサービス
- ・ 株式会社池田動物園



岡山から新しい風 —文化回廊を未来へ—

お か や ま 文 化 振 興 ビ ジ ョ ン

2013改訂版

(案)

平成20年度—平成29年度

岡 山 県

[目 次]

I	ビジョン改訂にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1	これまでの経緯と改訂の趣旨	
2	位置づけ	
3	対象範囲	
4	期 間	
II	文化振興の基本的視点・・・・・・・・・・・・・・・・	3
1	文化振興の基本的視点	
	(1) 自由な発想と主体的な文化活動の尊重	
	(2) 文化を創造し、享受することができる環境の整備	
	(3) 芸術家等の育成	
	(4) 県民の協働による文化の振興	
	(5) 将来の世代への文化の継承	
2	県の役割	
III	基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	「岡山から新しい風 -文化回廊を未来へ-」	
IV	基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	7
1	文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山	
2	文化の力で創り、拓く岡山	
3	文化でつながり魅力を発信する岡山（連携・交流・発信へ）	
V	具体的施策・・・・・・・・・・・・・・・・	8
1	文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山	
	(1) 子ども・若者が文化に触れる機会の充実	
	(2) 文化を担う人材や団体の育成・活用	
	(3) 参加し、楽しみ、感動できる機会の充実	

- 2 文化の力で創り、拓く岡山
 - (1) 伝統文化の保存・継承・発展
 - (2) 文化の力による地域づくりの推進
 - (3) 文化を活かした産業の活性化
- 3 文化でつながり魅力を発信する岡山（連携・交流・発信へ）
 - (1) 連携・協働の促進
 - (2) 文化交流の促進
 - (3) 岡山からの文化発信

VI 文化振興のための体制づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

- 1 文化行政推進体制の充実
- 2 政策形成への民意の反映等

VII 文化振興ビジョンにおける成果指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

I ビジョン改訂にあたって

1 これまでの経緯と改訂の趣旨

岡山県では、平成12年3月に「文化の時代」とも言われる21世紀を展望した「岡山県文化振興ビジョン」を策定し、平成18年3月には、県民の主体的な文化活動を尊重し、多様な主体との協働により心豊かに生きることが出来る地域社会の実現を目指した「岡山県文化振興基本条例」を制定しました。そして、この条例制定を契機として、また、平成22年秋の「国民文化祭」の本県での開催に向け岡山の「文化の力」を高めるため、「おかやま文化振興ビジョン」を平成20年2月に新たに策定し、各種施策に取り組んできました。

この間、合併による市町村の広域化やIT化の進展など社会経済情勢も大きく変化し、文化による地域社会の活性化や国境・県境を越えた地域の人々との相互理解への期待も高まっています。

また、県では、平成16年の「県立図書館」、平成17年の「天神山文化プラザ」、「ルネスホール」などの開館や「岡山県文化連盟」の創設などハード・ソフトの両面から施策を実施し、着実に成果を上げてきました。

さらに、平成22年秋に開催した「第25回国民文化祭・おかやま2010」（愛称：「あっ晴れ！おかやま国文祭」。以下、愛称で表記する。）では、これまで蓄積された岡山の文化を活かし、新しい文化の創造や発展に取り組むとともに、全国へ向けて岡山の文化を発信する大きな機会となりました。

加えて、平成24年4月からの5年間の県政推進の羅針盤である「第3次おかやま夢づくりプラン」では、生活の質を重視し、心の豊かさを求めるニーズの高まりを受けて、基本戦略として「豊かで潤いのある暮らしづくり」を新たに設けており、その中で、「文化」は戦略プログラムの中核となるメッセージ施策や基本施策として掲げられています。

今回、こうした本県文化を取り巻く社会経済情勢の変化等を踏まえながら、あっ晴れ！おかやま国文祭の成果を活かして、本県文化の一層の振興を図る施策を効果的に展開していくためにこのビジョンを改訂するものです。

2 位置づけ

このビジョンは、岡山県文化振興基本条例第7条に定める「文化の振興に関する基本的な計画」としての役割を担うもので、長期的視点に立った今後の本県文化行政の施策の方向性を示すものです。

3 対象範囲

「文化」は様々に捉えられていますが、本ビジョンでは、岡山県文化振興基本条例に基づき、概ね次に掲げる芸術、生活文化、伝統文化などの各分野を対象としています。

さらに、文化の持つ力を活用した地域づくり・国際交流・産業振興・福祉・景観などの分野における取組も含めて検討しています。

(対象とする分野)

- ◇芸術（文学・音楽・美術・書道・写真・演劇・舞踊・工芸・デザインなど）、メディア芸術（映画・漫画・アニメーション・コンピュータなどを利用した芸術など）
- ◇生活文化（茶道・華道・囲碁・将棋・民芸・郷土料理・ファッションなど）、文字・活字文化
- ◇伝統文化（地域の歴史と風土の中で育まれてきた文化財・伝統工芸・民俗芸能・祭り・行事・方言など）

4 期間

平成20年度から平成29年度までの10年間とします。

なお、平成24年度に中間見直しを行い、内容を改訂しています。

Ⅱ 文化振興の基本的視点

1 文化振興の基本的視点

このビジョンは、岡山県文化振興基本条例第3条に掲げた5つの基本理念を基本的な視点として策定します。

(1) 自由な発想と主体的な文化活動の尊重

現在は、芸術家が文化の創造を行うだけでなく、全ての人々が創造活動を行う時代になっています。こうした人間の自由な精神に基づいた多様な創造活動は、個人の生活の質を高め、その個性や創造性を引き出す原動力になります。

こうしたことから、県民一人ひとりの自由な発想と主体的な文化活動が尊重され、全ての人々が自由な発想を持って活動することにより、文化が活性化され、より豊かで特色ある創造的な地域文化が生まれるという視点を幅広く共有することが重要です。

(2) 文化を創造し、享受することができる環境の整備

文化を創造し、享受することは人々の生まれながらの権利です。県内どこに住んでいようと、誰もが等しく文化を創造し、享受することができる環境を整えていかななくてはなりません。

近年、県内各地で公立文化施設等の整備が進められ、施設面では充実してきましたが、文化を享受する機会についてはまだ地域的に大きな開きがあります。

こうしたことから、文化に関する情報提供や各地域における文化を育む環境の整備を通じて、広く県民が様々な形の文化に触れ、文化の創造活動に参加できるとともに、創造性や個性を発揮しやすい環境をつくることが重要です。

(3) 芸術家等の育成

多様で優れた文化を創造し、継承し、発展させていくためには、文化に関する創造活動に携わる芸術家をはじめ、文化施設や文化団体で企画・研究等を行う学芸員やアートマネジメント担当者、文化財等の保存技能者や研究者、伝統芸能の伝承者などの活動と相互の連携が欠かせません。

こうしたことから、これらの人々が活動成果を発表する機会の確保に加えて、文化に関する幅広い人材の育成・活用や資質向上のための研修の充実を図ることが重要です。

(4) 県民の協働による文化の振興

文化は、地域の魅力を創造し、発展を牽引するなど豊かな地域づくりの礎になるとともに、人々に精神的な豊かさや感動を与え、生きる力と喜びをもたらすなど、様々な面で私たちの生活を支えているものです。

文化の持つこのような普遍的な力を入づくりや地域づくり、さらには地域産業の発展に活かしていくことが必要です。

また、文化活動を行うNPO等の増加、大学と地域の連携、文化活動を支援する企業のメセナ活動など、行政以外の分野でも、様々な取組が広がりつつあります。

こうしたことから、県民・文化団体・NPO・企業・大学など、様々な主体と行政が、目標を共有し、その目標に向かって、ともに力を合わせて活動する文化の振興が重要です。

(5) 将来の世代への文化の継承

岡山県は、緑深い中国山地から豊饒の平野、瀬戸内海へと至る豊かな自然や、四季折々の山海の幸に恵まれています。また、古くから交通の要衝として多彩な人物・文物が交流し、古代吉備の国の繁栄の遺産を連綿と受け継ぎながら、県内各地域において個性ある文化を形成してきました。

地域の歴史と風土の中で育まれてきた文化財・伝統工芸・民俗芸能・祭り・行事・方言などの伝統文化は、人々の暮らしや生き方を支える基盤であるとともに、全国・世界に誇りうる貴重な財産です。また、これらの伝統文化は県民の誇りと心のよりどころであり、県民の活力を高め、新しい価値を創造する源であるとともに、将来の地域発展の基礎となるものです。

このようなことから、県内各地の個性ある伝統文化や埋もれた文化資源を掘り起こし、県民共有の財産として尊重し、将来の世代に伝えていくことが重要です。

2 県の役割

県の役割は、地域における文化振興の総合的なコーディネーターとして、芸術家等の育成支援や、県民や民間団体等の主体的な文化活動が活発に行われるような環境づくりを図るとともに、文化活動の成果がよりよい地域づくりに活かされるよう努めていくことです。

このことを踏まえ、次の役割に重点を置き、施策を推進していきます。

(1) 県民が文化に親しむ環境づくり

多くの県民が子どもの頃から各地域で様々な文化を楽しみ、感動し、文化活動に参加できる環境づくりに努めます。

(2) あっ晴れ！おかやま国文祭を契機とした文化の継承・発展

あっ晴れ！おかやま国文祭の成果を継承・発展させ、これまで蓄積されてきた岡山の伝統的文化を取り入れながら、世代や分野を超えた新しい文化が創造され発展するよう支援するとともに、その成果を今後の充実した文化活動へと継承・発展させていく仕組みづくりに努めます。

(3) 未来を創り、拓いていく担い手育成

将来の岡山の文化を担う子どもや若者らが、様々な文化を体験できる機会を充実するとともに、若手芸術家の育成など、未来を創り、拓いていく担い手の育成に努めます。

(4) 「文化の力」の充実と活用

文化の持つ「人々を感動させ魅了する力」、「地域の魅力や価値を高める力」等に着眼し、その力を高めて地域づくり・産業振興・福祉などに活かし、地域の活性化に努めます。

(5) 文化ネットワークの形成

文化の持つ力を高め、文化活動を活発化させるため、人・もの・地域を結びつける仕組みづくりに努めます。

Ⅲ 基本目標

「岡山から新しい風 -文化回廊を未来へ-」

岡山県は、豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、古代吉備の国からの長い歴史を通じて、人・もの・情報が活発に行き交う水陸の交通の要衝として栄えてきました。

そうした中で、先人が育み守り伝えてきた独自の文化と、時代ごとに新たに創造された文化とが交流し、融合する中で、岡山の文化を形成してきました。

そして、今また、県民の自主的な文化活動や幅広い交流を図ることで、新しい文化が生み出されようとしています。

あつ晴れ！おかやま国文祭の成果を継承・発展させ、引き続き、文化の継承と創造に県民一人ひとりが自ら参加し、楽しみ、感動が渦となって、岡山ならではの新しい文化の風を起こしていくことが大切です。

その風が県内の様々な地域をめぐりながら、人と人との心をつなぎ、人と地域を元気にしていきます。そして、岡山を起点として全国へ、世界へと続く文化の回廊を、未来に向かって悠々と吹き渡っていく大きな風となるよう目指します。

Ⅳ 基本方針

1 文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山

県民一人ひとりが文化を創造し、楽しみ、感動する機会を平等に得られることが大切です。県内各地域では文化施設面は充実してきましたが、文化を鑑賞する機会や創造活動に参加する機会は地域で開きがあります。また、芸術家等が活動成果を発表する機会や、先人から受け継がれてきた郷土文化を世代や地域を超えて発信する場もまだ十分ではありません。

このため、多くの県民が子どもの頃から各地域で文化の伝承・創造活動に参加でき、文化を楽しみ、感動できる環境づくりに努めます。

2 文化の力で創り、拓く岡山

文化の持つ力は、県民の自信と活力を高め、新しい価値を創造する源であり、豊かな地域づくりに欠かすことができません。

また、地域固有の歴史と風土の中で育まれてきた無形の祭りから有形の文化財に至る伝統文化や歴史的な景観、都市の景観、自然環境等は、県民の誇りと心のよりどころであり県民共有の財産です。

文化の持つ力でこれらの地域の魅力や価値をさらに掘り起こし、確実に未来に伝えていくとともに、地域産業の活性化やまちづくりなど、豊かな地域づくりにも文化の力を活かしていきます。

3 文化でつながり魅力を発信する岡山（連携・交流・発信へ）

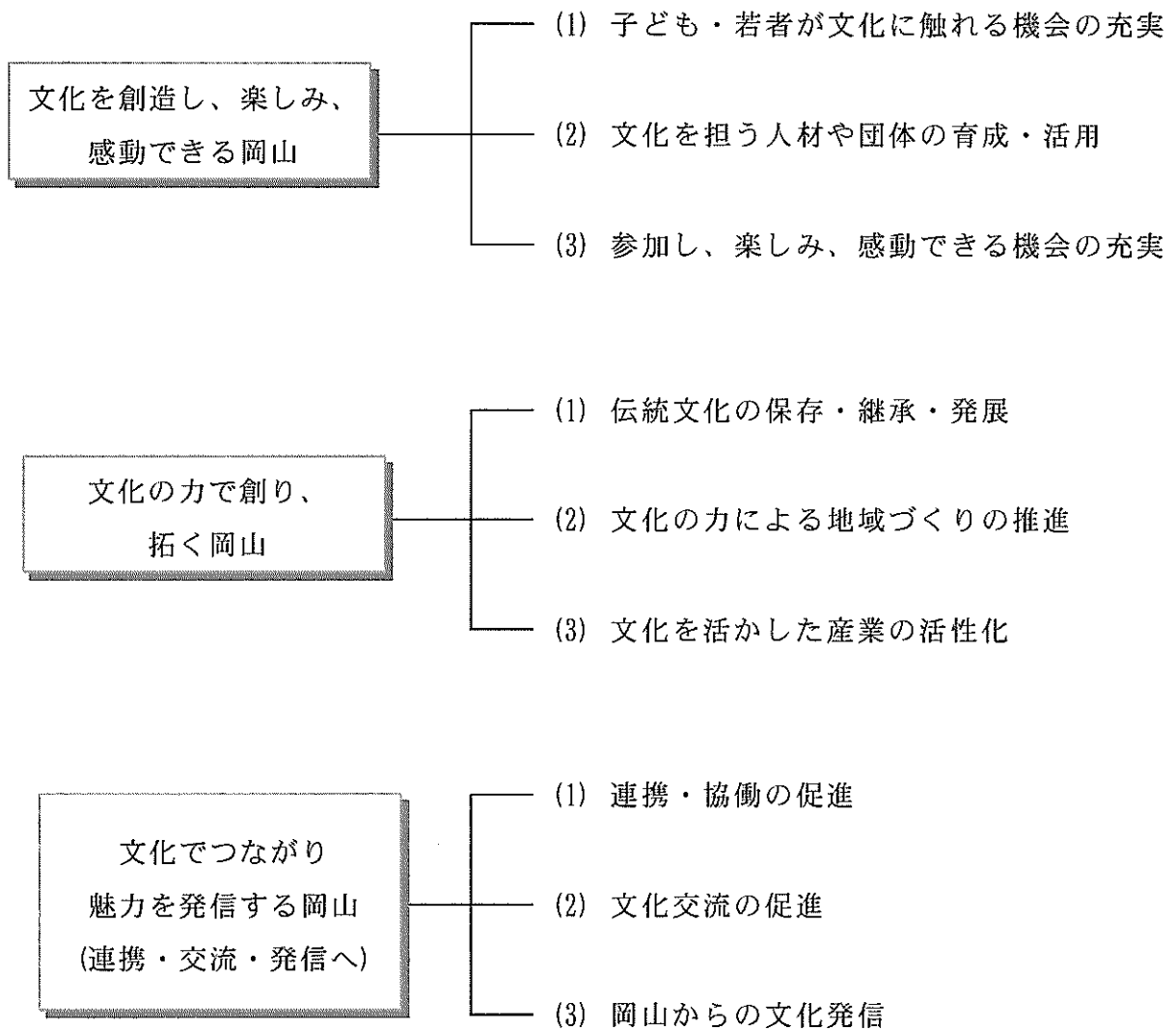
古くから交通の結節点となって栄えてきた岡山の歴史が語るように、人・もの・情報が活発に行き交う時代と地域にあってこそ多様な文化が融合し、向上し、新しい文化が育まれます。

また、芸術家等による質の高い文化は、人々に深い感動を与え、県民の心を豊かにします。さらに、地域固有の文化は、人々の心を結びつけ、相互理解と連携を深める上で重要な役割を果たすものです。

文化による相互理解を促進し、世界の人々との連帯感を醸成するため、また、国内外における岡山の拠点性を高めるためにも、岡山の魅力を伝える文化の積極的な発信と多様な文化の受信に努めます。

V 具体的施策

(施策体系)



1 文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山

(1) 子ども・若者が文化に触れる機会の充実

次世代を担う子どもや若者の豊かな心と感性を育てるため、身近な学校や地域において、子どもや若者が本物の文化に触れ、その魅力を理解し、創造活動に参加できる機会の充実に努めます。

(重点施策)

○学校教育における文化活動の充実

「総合的な学習の時間」など様々な学習機会を活用して、芸術や伝統文化等に親しむ教育の充実や、児童生徒が発表する機会の充実を図ります。

また、学校の各教科等の授業や文化部活動の活性化を図るため、音楽や美術の指導を行う教員の資質向上を図るとともに、優れた地域の芸術家や文化活動の指導者などと教員が協力して、様々なプログラムを作成し指導ができる体制づくりを行い、学校における芸術教育や文化活動の充実を図ります。

さらに、学校文化部活動の活性化を図るため、小・中学校における活動や岡山県高等学校文化連盟、岡山県中学校文化連盟^{※1}等への支援の充実を図ります。

○文化体験ワークショップの促進

文化のすばらしさを体験し豊かな心と感性を育てるため、子どもや若者が地域で活躍する芸術家等とふれあったり、芸術・伝統文化・生活文化を身近に体験できるワークショップ等の活動を促進します。

○子どもや若者の文化活動の充実

子どもや若者を対象とした文化公演等への支援を行うとともに、民間団体等との連携などにより文化活動の場や機会の充実を図ります。また、学校等と連携し、県立美術館や県立博物館などの文化施設によるアウトリーチ活動^{※2}の充実を図ります。

※1 岡山県高等学校文化連盟・岡山県中学校文化連盟：学校における文化活動の健全な発展を図るとともに、情操豊かな生徒を育成することを目的とした県内の高等学校・中学校の組織で、岡山県高等学校総合文化祭、国際交流事業（高等学校）、生徒作品・表現活動発表会（中学校）等の活動に取り組んでいます。

※2 アウトリーチ活動：アウトリーチの本来の意味は、手を伸ばすこと。日頃、文化に触れる機会が少ない人々への文化施設などが館外で行う普及活動をいいます。

○郷土の歴史や文化財に親しむ機会の充実

岡山ゆかりの人物や文化財をわかりやすく紹介する事典・ガイドブックの作成など、子どもや若者が、郷土の歴史、伝統工芸・伝統芸能、文化財に親しむ機会の充実を図ります。

(2) 文化を担う人材や団体の育成・活用

県民による文化活動の充実を図るため、文化活動を担う人材及び民間団体等の育成及び活用に努めます。また、次世代を担う新進芸術家が活動成果を発表する機会の充実を図ります。

(重点施策)

○文化団体への活動支援（文化活動エンパワーメント^{※3}）

文化団体による幅広い文化活動に対し、国、芸術文化振興基金^{※4}などの制度の活用や公益社団法人岡山県文化連盟^{※5}などと協力して支援を行います。

○若手芸術家の育成

次世代を担う若手芸術家の育成を図るため、新進美術家を対象とした岡山県新進美術家育成「I氏賞」の活用、県内外の留学・研修制度等に関する情報提供や活動成果を発表する機会の充実を図ります。

また、演劇等の基礎や技術を磨いていくために必要となる舞台などの発表の場の充実を図ります。

※3 文化活動エンパワーメント：文化団体等が十分に力を発揮できるよう、活動を支援することです。

※4 芸術文化振興基金：芸術団体等が行う芸術の創造又は普及を図るための活動、その他の文化の振興を図るための活動に対する援助を行うことを目的に平成2年に創設され、653億円の基金を原資として、その運用益をもって芸術文化活動に対する助成を行っています。

※5 公益社団法人岡山県文化連盟：芸術・文化関係の団体の相互連携と自主的活動の充実促進を図り、芸術・文化の普及振興に寄与するため平成17年6月に設立（平成19年6月に法人化）され、平成24年4月に公益社団法人化されました。

○アート・マネジメント^{※6}の推進

新たな文化の創造に資するよう、文化施設・文化団体の担当者、舞台技術者、学芸員などを対象に資質向上のための研修や交流機会の充実を図ります。

また、地域における文化活動を支えていけるよう、市民レベルで、企画、制作、演出などができる人材の育成を支援するとともに、民間団体、NPO等による活用を促進します。

○文化サポーターの育成

様々な分野の文化活動をサポートする人材を育成、活用し、あっ晴れ！おかやま国文祭での成果を継承・発展させ、今後の充実した文化活動へと結びつけます。

○芸術家等の創造活動への支援

地元の芸術家等による文化の創造成果が広く県民に親しまれるよう、市町村や地域住民と協力しながら、おかやま県民文化祭をはじめとした活動の場の充実に努めるとともに、芸術家等が文化活動の場や県内外の助成制度、文化活動などの各種情報を入手できるよう、情報提供や相談・助言等の窓口機能の充実を図ります。

こうしたことを通じ、地域における文化活動の質を高めるとともに、裾野の拡大を図ります。

(3) 参加し、楽しみ、感動できる機会の充実

広く県民が、身近なところで文化についての理解及び関心を高め、質の高い文化を鑑賞するとともに、文化の創造活動に参加できるような環境の整備を進め、優れた地域文化の形成に努めます。

(重点施策)

○文化施設の利用促進と充実

県立美術館、県立博物館、天神山文化プラザ、ルネスホール、県立図書館、生涯学習センター、県立記録資料館などの文化施設の利用促進に努めるとともに、全ての人々に利用しやすく多様なサービスを効率的に提供できる地域の文化の拠点とな

※6 アートマネジメント：文化施設の運営や文化団体の活動、あるいは、文化関係の催しに対し効果的で大きな成果を上げるための活動の総称。具体的には、企画制作、管理関係業務、広報活動などが含まれます。

るよう、様々な手法を活用し文化施設の充実を図ります。

また、県民が身近に文化活動を行うことができる場の充実を図るため、学校の空き教室や廃校施設、歴史的建造物、公共空間、商店街の空き店舗等についても、県民や地域の文化関係者の文化活動への幅広い利用を促進します。

あわせて、誰もが郷土の豊かな文化に触れることができるよう、広く県民の意見を踏まえながら、「新県立博物館」の整備について、在り方等を研究します。

○質の高い美術や舞台芸術等の鑑賞機会の提供

広く県民が優れた文化に親しむことができるよう、国、芸術文化振興基金、財団法人地域創造^{※7}などの制度の活用や民間の支援も得て、県内の文化施設において国内外の質の高い美術や舞台芸術等を鑑賞できる機会の充実を図ります。

また、民間団体、NPO等が行う文化の公演等への支援を通じて鑑賞できる機会の充実に努めます。

○「文化がまちにある」プロジェクトの推進^{※8}

あっ晴れ！おかやま国文祭の成功を受け、広く県民が文化に親しみ交流する場として、おかやま県民文化祭のグレードアップを図り、県民総参加による文化の祭典を繰り広げ、国民文化祭の開催により高まった県民の文化への関心や、県内各地で新たに始まった文化活動の取組を各地に根付かせ、伝統ある地域文化や新たに創造された特色ある文化を人々が身近に感じ育てていくことができる取組を推進します。

○文化に関する情報提供の充実

文化情報の拠点施設である天神山文化プラザ等において、各種文化情報の収集に努めるとともに、その情報をメディア等を用いて広く県民に対し発信します。

また、インターネットを活用し県民や文化関係者が文化情報の発信や入手を容易にできるよう「おかやま文化の駅」を設置していますが、内容を充実させるとともに、より使いやすいものになるよう努めます。

※7 財団法人地域創造：芸術文化の振興による創造性豊かな地域づくりを目的として、全国の地方団体等の出捐により平成6年に設立され、地域における芸術文化活動を担う人材の育成や公立文化施設の活性化を図るための各種支援事業などを実施しています。

※8 第3次おかやま夢づくりプランの基本戦略「豊かで潤いのある暮らしづくり」の中核となるメッセージ施策として掲げられているもので、特に力点を置いて進めていく施策です。

○地域の文化施設の活性化支援

地域住民の文化活動の拠点施設について、文化活動に必要な情報提供、文化施設相互の連携促進を図るとともに、各種助成制度なども活用して文化施設の活性化を支援します。

○高齢者、障害のある人等の文化活動の環境整備

高齢者、障害のある人等の文化活動の充実を図るため、施設のユニバーサルデザイン化や利用料・入館料の軽減など多様な人々のニーズに応じた工夫や配慮等を行い、文化活動が活発に行われる環境づくりを推進します。

2 文化の力で創り、拓く岡山

(1) 伝統文化の保存・継承・発展

岡山県には、「岡山後樂園」をはじめ、「吉備津神社」、「旧閑谷学校」などの文化財や「備前焼」、「備前刀」などの伝統工芸、「備中神楽」や「横仙歌舞伎」などの伝統芸能など全国に誇る豊かな伝統文化があります。このような穏やかで恵み豊かな自然・風土、古代吉備の国以来、各時代に多彩な文化を育んできた岡山県の歴史を物語る文化遺産を、県民共有の財産として適切に保存し、その中に含まれる先人の知恵を汲み出し、本質を学び、そして次世代に継承するとともに、今に生きる文化として発展させ、積極的な活用を図ります。

(重点施策)

○民俗芸能・伝統工芸などの保存・継承・活用

地域の祭り、民俗芸能、伝統行事、伝統工芸技術、先人が日常生活の中で伝えてきた知恵などの保存・継承を図るため、これらの保存・継承のための調査を推進するとともに、伝統工芸展や民俗芸能の祭典等の発表機会への参加促進や、後継者の育成、保存団体のネットワーク化を推進します。

○「吉備の国」文化遺産の保存・活用

「吉備の国」の豊かな文化遺産を体感できるよう、県民が歴史や文化に触れ、親しむ機会を充実します。また、文化遺産に対する関心や理解の促進のため、県・市町村が連携して、主要な遺跡や建造物等の文化遺産の保存・活用を図るとともに、世界遺産登録に向けての取組についても協働して推進します。

さらに、地域の文化財保護団体との連携によるボランティアの育成・活用など、文化財保護活動の充実を図ります。

○郷土の誇る先人顕彰の推進

郷土の先人の功績をたたえ次世代に伝えていくため、先人の功績の記録・顕彰、遺品・資料の収集及び公開を推進します。

(2) 文化の力による地域づくりの推進

地域の風土に根ざし、先人が守り伝えてきた様々な伝統文化や、地域固有の全国に誇りうる文化資源を改めて認識し、民間団体、NPO、大学等と連携しながら、地域で芽吹く新たな創造活動の活性化に努め、文化の力による地域のにぎわいと輝きの創出を促進します。

(重点施策)

○特色ある文化資源の掘り起こし

伝統文化、優れた景観、地域の歴史を素材とした文化活動などは、再評価や有効活用により、地域を特徴づけるシンボルとなります。このような県内各地に存在する特色ある文化資源を幅広く掘り起こし、さらに発展させ、ブランド化を図るなど、積極的に全国へ向け発信していくとともに、地域づくりへ活用していきます。

また、美作国建国1300年など歴史的な節目の機会を捉え、地域の歴史、文化についての意識を深める事業の実施等により、地域の活性化を図るとともに、情報を発信していきます。

○文化による地域のにぎわい創出

空き店舗や空き家、学校の空き教室や廃校施設等を活用したアートプロジェクトの実施や、アーティストや地域の文化関係者などによる文化の拠点づくりの取組を促進するなど、文化による地域のにぎわい創出を図ります。

○美しく魅力ある景観づくりの推進

地域に残る歴史的な建造物や魅力ある町並み、美しい自然や調和の取れた都市の景観は、人々の情緒・感性を豊かにし、潤いと安らぎを人々に与えます。

このような地域が誇る風景や自然、地域の特色ある生活などの文化資源を活用した美しく魅力ある景観づくりを推進します。

○歴史・自然を活かした豊かな食文化の継承・振興

豊かな自然に育まれた桃・ぶどう・鱈・牡蠣などの農林水産物や、それらの食材を引き立てる器や地酒を組み合わせた多彩な郷土料理など、ふるさとの食文化の継承・普及に努め、特色ある食文化の振興を図ります。

(3) 文化を活かした産業の活性化

地域の文化資源に内在する先人の英知や創造性などを活用して、観光産業・繊維産業をはじめ、地域の魅力を効果的に発信するコンテンツ産業などの振興・育成に努めます。

(重点施策)

○コンテンツ産業の育成

今後の事業発展が期待されるコンテンツ産業の育成・振興を図るため、デザインや情報専門学部(学科)を有する大学や県内IT企業等の協力により、人材の育成や地域コンテンツ情報の発信等を通じてコンテンツ産業の育成支援体制を強化します。

○繊維産業の振興

伝統に基づくものづくり技術や豊かな感性を活かし、技術開発や人材育成、産地ブランド化を総合的に推進し、生活文化であるファッションに大きく寄与している繊維産業を伝統分野から高度先端分野まで幅広く対応できる産業へ飛躍させる取組を進めます。

○観光産業の振興

伝統文化などの地域固有の文化資源を掘り起こし、新たな観光資源として積極的に活用することにより、魅力ある観光地づくりに努めます。また、文化振興と観光振興部門の連携を図ることにより、地域文化の魅力を伝える観光や、観光PRを活用した地域文化の情報発信を促進します。

3 文化でつながり魅力を発信する岡山（連携・交流・発信へ）

（1）連携・協働の促進

文化の持つ力を高め、文化活動の広がり及び質の向上が促進されるよう、文化活動に関わる県民、芸術家、民間団体、文化を支援する企業、NPO及び市町村などの様々な主体のネットワークづくりに努めるとともに、世代や分野を超えた新たな連携へと発展する取組を促進します。

（重点施策）

○文化ボランティアやNPO等の活動の促進

ボランティアコーディネーターの育成やボランティア活動の情報提供、NPO等を対象にした提案公募型事業などにより、文化ボランティアやNPOなど県民による文化を支援する活動の促進や高齢者が次代を担う子どもや若者に文化を伝承する仕組みの検討を行います。

○文化サポートネットワークの形成

様々な分野の芸術家や文化団体関係者等が活動できる環境をサポートするため、研修機会の充実を図るとともに、情報交換や交流を通じて文化活動の運営や企画を支える人材のネットワークづくりを推進します。

○アートネットワークの形成

県内美術館等のネットワークを強化し、巡回展や共同イベントの実施、周遊割引券等の特典制度の導入等により、県内各地で魅力的な文化に触れられる環境づくりを促進します。

（2）文化交流の促進

文化の交流を通じ、地域の文化活動の活発化や人々の相互理解を深めるため、県内各地の特色ある文化、伝統行事など地域の文化資源を活用した地域間交流、アジアを中心とした世界の諸地域との交流などを促進します。

（重点施策）

○文化交流のネットワークづくり

文化交流のネットワークづくりを図るため、香川県をはじめ中四国各県等と協働

した環瀬戸内海文化連携、中四国文化の集い、中国・四国ブロック民俗芸能大会など各種事業の他県との共同実施を推進します。

○国内文化交流の促進

あっ晴れ！おかやま国文祭により培われた、世代や分野を超えた文化団体や人々の交流の広がりを通じて、県内外の文化交流や全国大会への参加を促進するとともに、文化関係の全国大会や中四国大会などの誘致を推進します。

○国際文化交流の促進

異文化への理解を促進するとともに、文化が持つ普遍的な力により、言葉の壁を超えた文化の交流を進めます。

また、県内各地の特色ある文化資源を活用した地域・住民レベルでの国際交流や、友好（姉妹）都市交流等の促進を図るため、国際理解の促進、文化交流に関する情報提供などに取り組みます。

(3) 岡山からの文化発信

国内外における岡山の拠点性を高めるため、メディア等の効果的な活用や人的交流を通じて、伝統文化から現代文化まで、多様な文化の魅力の国内外へ向けた積極的な発信を推進します。

(重点施策)

○文化情報のデジタル化、データベース化

美術品や文化財等の積極的な公開・展示を進めるため、映像技術やインターネットを活用した記録・保存・公開を図り、情報発信を推進します。

○デジタルコンテンツの利用による情報発信

郷土岡山に関するデジタルコンテンツを収集・作成し、「デジタル岡山大百科」により全国への情報発信に努めます。

○おかやま独自の文化発信

あっ晴れ！おかやま国文祭により培われた文化団体や人々の交流の広がりを通じて、岡山の文化情報の発信やイメージアップにつながる国際交流を盛り込んだ芸術プロジェクトを検討します。

Ⅵ 文化振興のための体制づくり

1 文化行政推進体制の充実

文化の分野の広がりや文化振興の多様化を踏まえ、県の各部局の緊密な連携・協力により、文化の総合的なコーディネーターとしての役割を担えるよう、総合的な文化振興を推進するとともに、文化活動の調査・分析などの支援に努めます。

また、公益財団法人岡山県郷土文化財団^{※9}や公益社団法人岡山県文化連盟などと連携を強化するなど効果的な文化行政を推進します。

さらに、あつ晴れ！おかやま国文祭の成功を踏まえて、県民・芸術家・文化団体・NPO・企業・大学・市町村などとの協働による推進体制を整備するとともに、その成果を活かしながら、本県文化の一層の振興を図る施策を効果的に展開していくための仕組みづくりに努めます。

(重点施策)

○文化的視点をもった施策の推進

セミナーの開催等により文化意識の向上を図るとともに、文化的視点を導入した行政施策の推進を図ります。

2 政策形成への民意の反映等

文化行政を推進する上で、県民の多様なニーズを把握することが重要であることから、文化の振興に関する施策形成や事業実施に際して、文化振興審議会の意見聴取、有識者等の積極的活用による県民の多様な意見の反映に努めます。

また、県全体の事業について選択と集中を図る中、文化振興の施策についても適切な評価を行い、支援の重点化と効率化を図る必要があることから、文化振興審議会の意見も聴きながら事業効果の把握に努め、各施策を評価し、事業実施に反映します。

※9 公益財団法人岡山県郷土文化財団：優れた自然や文化的遺産の保護・保存及び管理とその利用の促進を図るとともに、伝統に根ざした地域文化の創造を行うことにより「うるおい」と「やすらぎ」のある郷土づくりに寄与するため、昭和54年10月に設立され、平成24年3月に公益財団法人化されました。自然・文化財保護事業、地域文化振興事業、後楽園等の文化施設の管理運営事業などを行っています。

文化振興ビジョンにおける成果指標

1 文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山

(1) 子ども・若者が文化に触れる機会の充実

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	備考
学校行事で県立美術館を訪れた人数	4,104人 (H23年度)	4,400人	
(説明)授業や部活動などの学校行事で県立美術館を訪れた人数			
ワークショップ参加者数	908人 (H21～H23平均)	1,000人	
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホールが開催したワークショップに参加した人数			
アウトリーチ活動実施回数	28回 (H21～H23平均)	30回	
(説明)県立美術館、県立博物館、ルネスホールが実施したアウトリーチ活動の回数			

(2) 文化を担う人材や団体の育成・活用

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	備考
あつ晴れ！子どもみらい塾講師派遣回数	338回 (H21～H23平均)	380回	
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数			
文化関係各種助成金の採択件数	22件 (H23年度)	25件	
(説明)文化庁、日本芸術文化振興会、地域創造等の団体が募集した助成金事業に採択された件数			
文化施設担当者研修会への参加者数	143人 (H23年度)	150人	
(説明)岡山県博物館協議会主催の研修会へ参加した人数			
岡山県美術展覧会への応募点数	3,384点 (H24年度)	3,500点	
(説明)岡山県美術展覧会へ一般応募された作品(日本画、洋画、工芸、書道、写真、彫刻、デザイン)の点数			
岡山県文学選奨への応募作品数	392件 (H24年度)	500件	
(説明)岡山県文学選奨に応募のあった作品(小説、随筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、童話)の数			

(3) 参加し、楽しみ、感動できる機会の充実

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	備考
文化施設利用者数(※)	531,106人 (H23年度)	700,000人	
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数			
県立美術館の講座等への参加者数	1,646人 (H23年度)	2,500人	
(説明)県立美術館が実施する美術館講座、美術の夕べ、講演会、フラワーレクチャー等への参加者数			
優れた芸術を鑑賞した学校数	85校 (H23年度)	475校	23年度からの累計
(説明)県や国が実施するスクールコンサートや、青少年劇場、巡回公演事業等を開催した学校の累積数			

県民文化祭参加者数(※)	252,914人 (H23年度)	350,000人	
(説明)おかやま県民文化祭への総参加者数			
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数			

(※)印のある指標は、第3次おかやま夢づくりプランの「暮らしやすさ指標」に設定されている。

2 文化の力で創り、拓く岡山

(1) 伝統文化の保存・継承・発展

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	備考
日本伝統工芸展への応募点数	146点 (H23年度)	150点	
(説明)日本伝統工芸展に県内在住者が応募した点数			
登録文化財の登録件数	251件 (H23年度)	300件	
(説明)登録文化財の登録件数			
後樂園の入園者数	664,503人 (H23年度)	765,000人	
(説明)後樂園の入園者数			

(2) 文化の力による地域づくりの推進

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	備考
おかやま県民文化祭地域フェスティバル参加者数	33,073人 (H23年度)	40,000人	
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)への参加者数			
地域の景観づくりに主体的に取り組む景観行政団体(市町村)数	6団体 (H23年度)	10団体	
(説明)景観計画の策定等、地域独自の景観形成施策を実施する景観行政団体(市町村)数			
地産地消協力店の登録店舗数	262店舗 (H23年度)	290店舗	
(説明)県産食材を積極的に提供する県内小売店や飲食店を「地産地消協力店」として県が登録した店舗数			

(3) 文化を活かした産業の活性化

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	備考
IT・コンテンツ人材育成研修への参加者数	36人 (H23年度)	40人	
(説明)県の委託により実施したIT・コンテンツ人材育成関連の研修に参加した人数			
観光客入り込み数(※)	2,337万人 (H23年)	2,800万人	
(説明)県内観光施設等への観光客入り込み数			

(※)印のある指標は、第3次おかやま夢づくりプランの「暮らしやすさ指標」に設定されている。

3 文化でつながり魅力を発信する岡山

(1) 連携・協働の推進

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	備考
おかやま県民文化祭地域フェスティバル 実行委員会への参加団体数	34団体 (H23年度)	40団体	
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)の実行委員会に参加した団体数			
あつ晴れ！子どもみらい塾講師派遣回数	338回 (H21～H23平均)	380回	再掲
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数			
おかやま県民文化祭参加事業数	125事業 (H23年度)	150事業	
(説明)おかやま県民文化祭参加事業として実施された事業数			
県立美術館ボランティア数	81人 (H24年度)	85人	
(説明)県立美術館に登録しているボランティア数			

(2) 文化交流の促進

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	備考
国民文化祭への派遣団体数	18団体 (H24年度)	20団体	
(説明)国民文化祭への派遣団体数			
国際文化交流事業に参加した生徒数	— (H23年度)	900人	24年度からの累計
(説明)国際文化交流事業(韓国・中国)に参加した高校生の累積数			

(3) 岡山からの文化発信

指 標 名	現況値 (時点)	目標値 (H29年度)	備考
文化、スポーツ、自然などに誇りを持てる地域になっていると感じる人の割合(※)	25.6% (H23年度)	55%	
(説明)県民満足度調査で文化、スポーツ、自然などに誇りを持てる地域になっていると感じる人の割合			
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	再掲
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数			
内田百閒文学賞への応募作品数	340件 (H24年度)	350件 (H28年度)	隔年
(説明)内田百閒文学賞に応募のあった作品(随筆、短編小説)の数			
ラジオ番組による文化情報等の発信回数	— (H23年度)	100回	24年度からの累計
(説明)県内の文化情報を定期的なラジオ番組として情報発信した回数			

(※)印のある指標は、第3次おかやま夢づくりプランの「暮らしやすさ指標」に設定されている。

○この成果指標は、県が実施する事業や県立施設に関連する内容を中心に設定をしています。
○文化団体等が行う様々な活動に関しては数値化が困難なものもありますが、今後、文化関係者等のご意見をいただきながら、可能なものは取り入れていくこととしています。